

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月 4日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県東海市大田町松崎331-1	
氏 名 株式会社中村土木建設	
代表取締役 中村 太紀	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0562-32-4730	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社中村土木建設
事業場の所在地	愛知県東海市大田町松崎331-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高：2,469 百万円
③ 従業員数	68人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	道路改良工事及び上下水道管布設工事・維持修繕工事・河川工事ほか 道路改良工事：がれき類 → 再生処理業者に委託し再生砕石として再資源化 上下水道管布設工事及び河川工事：がれき類 → 再生処理業者に委託し再生砕石として再資源化 維持修繕工事：木くず→再処理業者に委託し、チップとして再資源化 金属くず→再生処理業者に委託し、破碎して再資源化 混合物 → 再生処理業者に委託し、選別後破碎、再資源化 廃プラスチック→再生処理業者に委託して、破碎RPF 燃料として再資源化 汚泥→再処理業者に委託し、乾燥、再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 工事部長 (廃棄物処理総括責任者) <div style="margin-left: 40px;"> <div style="display: inline-block; width: 150px; height: 100px; border-left: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="display: inline-block; width: 150px; height: 100px; border-left: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="display: inline-block; width: 150px; height: 100px; border-left: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"></div> </div> <div style="margin-left: 100px;"> 安全衛生協議会 ————— 協力会社 総務部サポート課 (産業廃棄物管理担当) 工事現場管理責任者 (産業廃棄物処理責任者) </div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	1, 412. 39 t	
	(これまでに実施した取組) 現場における廃棄物の分別の徹底 マニフェストの適正管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 他	
	排 出 量	1, 300 t	
	(今後実施する予定の取組) 昨年は工事量が増加した為、排出量が増加しました。 今年度は前年度から繰り越しの工事が多く、撤去工事は前年度に完了している現場が多いためがれき類 (アスファルト、コンクリート) の排出量を抑えることが可能と考える。 現場における廃棄物の分別、マニフェストの適正管理の徹底し、再利用に努め廃棄物の減量に取り組む。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類はアスファルト殻、コンクリート殻に分別		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	1,412.39 t	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	28.29 t	
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1,412.31 t	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の種類の分別の徹底 排出したがいれき類は100%再生利用業者へ処理委託する		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	1, 300 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	30 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1, 300 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 排出したがれき類の100%再生利用業者への処理委託と廃棄物の分別 の徹底。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。